

統一論題セッション報告要約フォーマット

氏名(Name)

杉田俊明

所属・職(Affiliation)

甲南大学名誉教授

報告タイトル(Title)

貿易戦争下の多国籍企業経営
～「中国企業」の捉え方とその対応について～

キーワード(5 keywords)

中国企業
華人系企業
「引進來」と「穩外資」
「走出去」と「維多辺」
ラーニング・ケイパビリティ

要約(Abstract)

大国間の覇権争いや貿易戦争などで経営環境が激変する中、多国籍企業は対応を迫られ、中国企業関連研究の重要性も高まっている。本報告では、華人系企業家対象のエクゼクティブ MBA 教育を含め、企業国際業務に長年携わってきた者として「中国企業」とは何かという基本的な問いを起点に問題提起を行う。

・「中国企業」は一括りにされがちだが、当局は統計上詳細に分類し、政治的にも使い分けている。一方、多国籍企業側(専門職)も独自の属性分析を行い、戦略に活用している。

・中国は外資を利用しつつ、自国企業を通じてグローバル市場やグローバルサウスとの連携を強め、自国の影響力を強化すると共に、西側諸国や多国籍企業のグローバルサプライチェーンに影響力を及ぼそうとしている。

・中国企業の強さの背景には、国家の支援に加え、高い学習能力がある。

・中国企業と提携や競争に「知己知彼」が不可欠であり、ボーダレスに展開する華人系企業に対する研究が重要な手がかりとなる。